

東京フロイデ合唱団 第17回演奏会

ベートーヴェン 交響曲第九番「合唱」

ロッシェニ「セミラーミデ」序曲



管弦楽 日本フィルハーモニー交響楽団
合唱 東京フロイデ合唱団 合唱指導 富澤 裕



ソプラノ
腰越満美



アルト
金子美香



テノール
村上公太



バリトン
宮本益光

2014年 **11月30日(日)** 午後2時30分開演 (午後2時開場)

東京芸術劇場コンサートホール

■チケット申込み(8月27日(水)予約受付開始)

東京フロイデ合唱団 TEL **03-5940-0731** (平日午前11時~午後4時)
ファクス 03-6304-1688 メール t-freude@tg8.so-net.ne.jp

■全指定席 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円 C席 2,000円 D席 1,000円

主催:東京フロイデ合唱団 ホームページ <http://andiefreude.web.fc2.com/>

後援:国際連合広報センター/東京都/豊島区/東京都社会福祉協議会/公益財団法人さわやか福祉財団/東京都生活協同組合連合会/生活協同組合・東京高齢協

★お願い★ 団員への花束など贈り物は、はなはだ勝手ながらご辞退させていただきます。

指揮
小松長生

東京フロイデ合唱団

第47回国際連合の「国際高齢者年」の決議を期に「人生の完成期に生涯忘れられない感動を」と「東京高齢者合唱団」が設立され、1999年から「第九」を歌っている合唱団です。

2006年には「東京フロイデ合唱団」と改称して、もっと幅広い年齢層に参加を呼び掛けて演奏活動をしています。発足以来「参加資格はやる気だけ」のスローガンで、初心者にも、何時でも門戸を開いており、世代を超えて共に「歓喜の歌」を響かせています。毎年の「5000人の第九」への参加、2008年の「世界九条会議」(幕張メッセ)にも参加して多くの人々と合唱しており、歌を通じて世界平和を希求しています。オーケストラは日本フィルハーモニー、指揮は外山雄三先生に長い間タクトを振って頂きましたが、現在は小松長生マエストロに指揮をお願いし、富澤裕先生の合唱指導、江原郊子先生のピアノ、越智容子先生のヴォイストレーニングで一歩一歩合唱力を高めています。



合唱指導
富澤 裕



ピアノ
江原郊子



ヴォイストレーナー
越智容子

出演者紹介

Profile



指揮 小松長生 (こまつ ちょうせい)

福井県生まれ。東京大学美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒。エクソン指揮者コンクール優勝。カナダKW響音楽監督、東京フィル正指揮者等を経て、現在コスタリカ国立交響楽団桂冠指揮者及びセントラル愛知交響楽団名誉指揮者。これまでにモントリオール響、ケルン放送響、ソウルフィル、モスクワ放送響、ヴェネツィア国立響、「東急ジルバスターコンサート」「題名のない音楽会」、「NHK BS プレミアム」、「NHKららら」クラシック、ベルリン・フィルハーモニーホール創立50周年記念日独第九演奏会などを指揮。2014年は、6月ジュネーヴで『第九』を演奏し、11月アムステルダム・コンサートヘボウ、ハーグでのヴェルディ『レクイエム』が予定されている。金城学院大学教授。音楽藝術学博士。著書「リーダーシップは『第九』に学べ」(日経出版社)。



ソプラノ 腰越満美 (こしごえ まみ)

東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。二期会オペラスタジオ修了。修了時最優秀賞及び川崎静子賞受賞。文化庁オペラ研修所修了。文化庁芸術家在外派遣研修員として2年間、イタリアにて研修。95年フェルッチョ・タリアヴィーニ国際コンクール第1位。2002年、二期会オペラ『蝶々夫人』のタイトル・ロールで絶賛され、以後、大きな当り役となった。『メリー・ウィドー』『天国と地獄』『天守物語』『夕鶴』などで次々に主演で出演している。CDは「マイ・フェアヴァリット」21世紀に伝えたい日本の歌」、「武満徹: SONGS」が発売されている。二期会会員



アルト 金子美香 (かねこ みか)

東京音楽大学声楽演奏家コースを首席で卒業、同大学院声楽専攻修了。ザルツブルグモーツァルテウム音楽院・二期会オペラ研修所マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位入賞。第15回日仏声楽コンクール第2位及び日本歌曲賞、第63回山口県芸術文化奨励賞受賞。2008年2月二期会『ワルキューレ』グリムゲルデ役でデビュー。2009年6月二期会ニューウェーブオペラ『ウリッセの帰還』の主役ペネロペ役、神奈川県民ホール・びわ湖ホール『ワルキューレ』シュベルトライト役等で出演。コンサートではベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、ヴェルディ「レクイエム」、メンデルスゾーン「エリア」等に出演。二期会会員



テノール 村上公太 (むらかみ こうた)

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。2006年より文化庁在外研修員としてイタリア・ポローニャへ留学。2007年5月ジュゼッパ・ディ・ステファノ国際コンクールにてリゴレットのマントヴァ公爵役を獲得及び出演。東京二期会『トゥーランドット』ポン役、「マクベス」マルコム役等で出演の他、2010年2月にシンガポールオペラ『ラ・ボエーム』ロドルフォに出演。同年7月には「魔笛」のタミーノ、2011年には「サロメ」ナラポートで出演するなど海外でも注目を浴びている。二期会会員



バリトン 宮本益光 (みやもと ますみつ)

東京藝術大学、同大学院博士課程修了。オペラやコンサートへの出演に加え、教育プログラムでも評価が高く、「日本フィル夏休みコンサート」ではオペラ『魔笛』をモチーフにした独自のアイデアによるステージを親子向けに披露し、会場の親子より大喝采を浴びた。古典作品から現代作品、邦人作品までそのレパートリーは幅広い。2012年2月CD「碧のイタリア歌曲」をリリース。東京フロイデ合唱団「第九」演奏会には4回連続の出演となる。二期会会員
<http://www.mas-mits.com/>

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務めました。現在はロシアの名匠、首席指揮者アレクサンドル・ラザレフ、桂冠指揮者小林研一郎、首席客演指揮者ピエタリ・インキネン、正指揮者山田和樹、そしてミュージック・パートナー西本智実という充実した指揮者陣を中心に、さらなる演奏力の向上を目指しています。「オーケストラ・コンサート」、「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ(地域活動)」という三つの柱で活動を行い、「音楽を通して文化を発信」してまいります。1975年から続く「夏休みコンサート」をはじめ、音楽によって子どもたちの創造性をはくむ創作ワークショップも広く展開。全国で学校や施設を訪問しコンサートを行うほか、地元杉並区では「60才からの楽器教室」といったシニア世代への活動も積極的に行っております。2011年4月より、聴衆からの募金をもとにボランティア活動「被災地に音楽を」を開催。2013年5月までにその公演数は100を超えています。
※日本フィルは内閣府より公益認定を受け、2013年4月1日より「公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団」と名称変更致しました。

会場案内図

